

 GAUDI

# デジタルフォトフレーム

取扱説明書

GHV-DFC35RDシリーズ



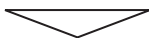
## はじめに

### 設置の手順

内容物を確認します。  
(1 ページ)



本書に書かれている「安全上のご注意」「使用上のお願い」をよく読みます。  
(3 ~ 12 ページ)



各モードの操作方法をよく読みます。  
(18 ~ 26 ページ)



各モードで再生します。

### 内容物の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。

<input type="checkbox"/> GHV-DFC35RD 本体	1 台
<input type="checkbox"/> 専用 AC アダプタ	1 個
<input type="checkbox"/> 専用 スタンド	1 個
<input type="checkbox"/> 単 4 形 乾 電 池 *	2 本
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 (本書)	1 部
<input type="checkbox"/> 1 年 間 保 証 書	1 部

\* 付属の単4形乾電池はモニタ用のため、寿命が短い場合があります。ご了承ください。

# 目次

---

はじめに	1
設置の手順	1
内容物の確認	1
<b>安全上のご注意</b>	<b>3</b>
安全に正しくお使いいただくために	3
<b>使用上のお願い</b>	<b>11</b>
未永くお使いいただくために	11
<b>外部メモリについて</b>	<b>13</b>
外部メモリの対応	13
外部メモリの挿入と取り外し	14
<b>ファイルについて</b>	<b>15</b>
再生できるファイル	15
著作権について	15
<b>各部のなまえ</b>	<b>16</b>
各部名称	16
<b>基本操作</b>	<b>18</b>
電源操作	18
<b>デジタルフォトフレーム機能を使用する</b>	<b>19</b>
メインメニュー	19
<b>写真モード</b>	<b>20</b>
写真モード(操作方法)	20
<b>設定モード</b>	<b>21</b>
設定モード(操作方法)	21
<b>ラジオモード</b>	<b>23</b>
ラジオモード(操作方法)	23
<b>時計機能を使用する</b>	<b>24</b>
時計モード(操作方法)	24
<b>トラブルシューティング</b>	<b>27</b>
故障かな?と思ったら	27
<b>その他</b>	<b>27</b>
アラーム音一覧	27
世界時計一覧	27
仕様	28
故障について	29

## 安全上のご注意

---

### 安全に正しくお使いいただくために

---

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。

次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

#### ■表示の説明

---



この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。



この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。  
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。  
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

#### ■絵表示の例

---

##### 行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。  
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

##### 注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。  
(左図の場合、「注意」を示しています。)

##### 行為を指示する絵表示



コンセントから  
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。  
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)



## 警告

### 異常が発生した場合



コンセントから  
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから  
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから  
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから  
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから  
プラグを抜く

落下や衝撃により破損したら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。



コンセントから  
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。  
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。



# 警告

## 電源について



AC100V以外  
使用禁止

AC アダプタは、100 ボルト交流電源 (AC100V) のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。

日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



定期的に  
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。

電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから  
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、AC アダプタをコンセントから取り外して行ってください。

電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過  
禁止

コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えてご使用にならないでください。

タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ  
禁止

AC アダプタのコードは、傷つけないでください。

ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。



# 警告

## 電源について



落雷時は  
触れない

落雷のおそれがある場合、製品に触れないでください。  
感電の危険があります。



濡れた手で  
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。  
感電の危険があります。



破損コンセント  
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。  
コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コードひっぱり  
禁止

電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。  
コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



# 警告

## 設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。

不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。



水濡れ禁止

水のかかる場所に置かないでください。

雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがないでください。

通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。

火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。

ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。

熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。





# 警告

## 使用について



分解や改造  
禁止

分解や改造をしないでください。  
火災や感電の危険があります。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。  
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。  
火災の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。  
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運び場  
合は、無理に取り扱わないでください。



禁止

業務用途としてはご使用にならないでください。  
過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



## 警告

## 電池について



指定外の電池  
使用禁止

指定の電池をご使用ください。

指定外の電池、種類の違う電池や未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせでご使用になると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス (+)、マイナス (-) の極性に注意してください。



電池を  
取り外して

長時間で使用になられないときは、電池を取り外してください。

使用推奨期限を過ぎたり、使いきった電池を入れたままにすると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。



禁止

電池を加熱したり、分解したり、水や火の中に入れてください。

破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。



禁止

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

飲み込むと、障害や中毒の原因となります。

## **注意** 使用について



コンセントから  
プラグを抜く

長期間で使用にならないときは、電源プラグを抜いてください。  
電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。



適度な音量で  
使用する

適度な音量でご使用ください。  
音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。



禁止

メモリカードを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。  
飲み込むと、窒息や障害の原因となります。

### 末永くお使いいただくために

#### 製品の取り扱いについて

- 製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- 電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- 製品を移動する際は、メモリカードを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

#### 製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源を切り、ACアダプタをコンセントから取り外してください。
- 汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- 殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

#### 製品の温度について

- 密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖かくなる場合がありますが、故障ではありません。
- 製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
- 製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから取り外してください。

#### 結露（つゆつき）について

- 温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- 結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- 結露が起こった場合、電源を切り、しばらく放置してください。
- 寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

#### 磁気や電磁妨害について

- 磁気の影響を避けるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- 電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- 磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

#### しばらく使用しないときは

- 使用後は節電のため、電源を切ってください。
- 長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

## メモ리카ードの取り扱いについて

- メモ리카ードに付属の取扱注意書をよくお読みください。
- 保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
- 端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
- 折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 液体をかけないでください。
- シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

## データについて

- 記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データの管理は、お客様の責任において行ってください。

## 免責事項について

- 取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

### 外部メモリの対応

●本書では、「SDメモリーカード」を外部メモリと表記しますので、置き換えてお読みください。

対応している外部メモリは次のものがあります。

SDメモリーカード	(32MB ~ 2GB)	SDHCメモリーカード	(4GB ~ 32GB)
microSDメモリーカード※	(32MB ~ 2GB)	microSDHCメモリーカード※	(4GB ~ 16GB)

※microSD カード、microSDHC カードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。

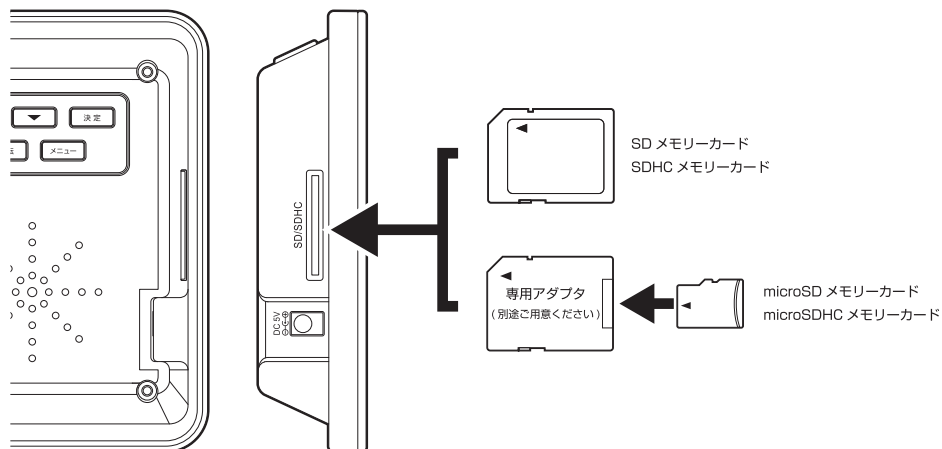
- 上記外部メモリすべての動作保証をするものではありません。
- MMC（マルチメディアカード）での動作保証はしていません。
- SD、SDHC、microSD、microSDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。



## 外部メモリの挿入と取り外し

### 外部メモリの挿入方向

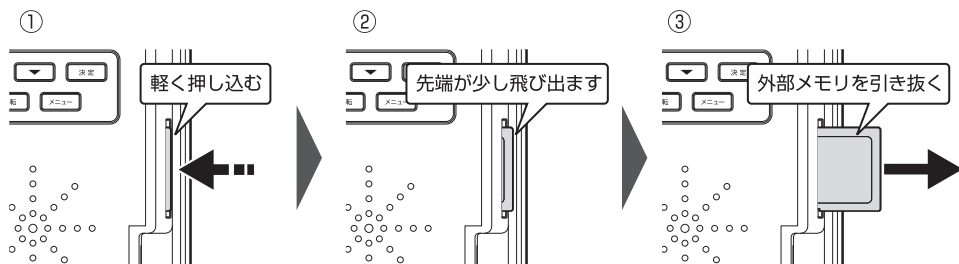
外部メモリを挿入する際は、表裏を確認し、図の向きに挿入してください。



●挿入する際に、無理な力を加えると、外部メモリや本製品を破損するおそれがあります。

### 外部メモリの取り外し

外部メモリを軽く押し込むと (①)、外部メモリの先端が少し飛び出しますので (②)、挿し込んだ方向と逆側の方向に引き抜いてください (③)。



●取り外す際に、無理な力を加えると、外部メモリや本製品を破損するおそれがあります。

## ファイルについて

---

### 再生できるファイル

本製品で再生できるファイル形式は以下の通りになります。

画 像 JPEG

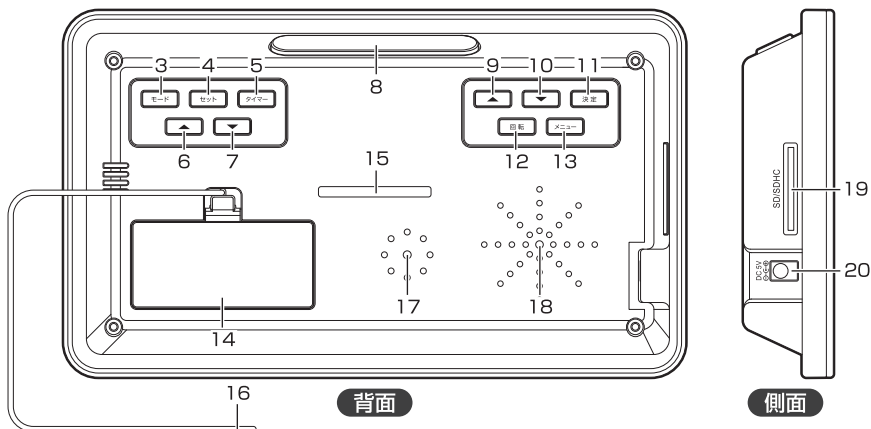
- 対応形式であっても、すべてのファイルの再生を保証するものではありません。

### 著作権について

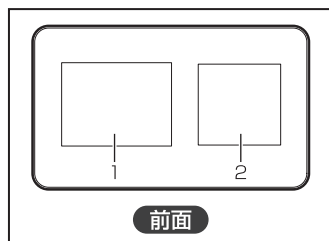
- テレビ、インターネット、CDなどから録画・録音したメディアのコンテンツを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは法律により禁じられています。
- デジタルカメラなどで撮影した画像データは個人として楽しむなど以外、著作権上権利者に無断で使用できません。



## 各部名称



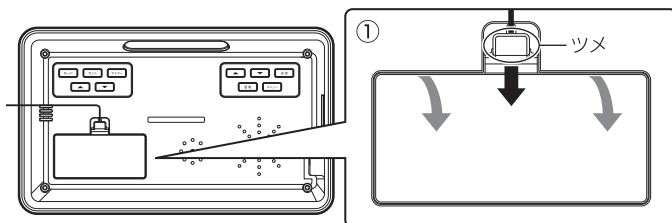
- |                |     |                                      |
|----------------|-----|--------------------------------------|
| 1: デジタルフォトフレーム | ... | 写真を表示します                             |
| 2: 時計          | ... | デジタル時計、気温などを表示します                    |
| 3:             | ... | 時計の動作モードを切り替えます                      |
| 4:             | ... | 時刻を設定します                             |
| 5:             | ... | タイマー機能をオンにします                        |
| 6:  (背面左側)     | ... | ベル機能のオン/オフに使用します<br>時刻を合わせる際に使用します   |
| 7:  (背面左側)     | ... | スリープ機能のオン/オフに使用します<br>時刻を合わせる際に使用します |
| 8:  スヌーズ       | ... | アラームが鳴ったときに使用します                     |
| 9:  (背面右側)     | ... | 次のファイルを表示します                         |
| 10:  (背面右側)    | ... | 前のファイルを表示します                         |
| 11:            | ... | 項目を決定します                             |
| 12:            | ... | 画像を回転表示します                           |
| 13:            | ... | メインメニューを表示します                        |
| 14: 電池ボックス     | ... | 電池を挿入します                             |
| 15: スタンド取り付け部  | ... | 本製品を立てかける際に使用します                     |
| 16: ラジオアンテナ    | ... | ラジオに使用します                            |
| 17: ブザー        | ... | ブザー音を出力します                           |
| 18: スピーカー      | ... | 音声を出力します                             |
| 19: SD カードスロット | ... | SDメモリーカードを挿入します                      |
| 20: DC ジャック    | ... | 付属の専用 AC アダプタを接続します                  |



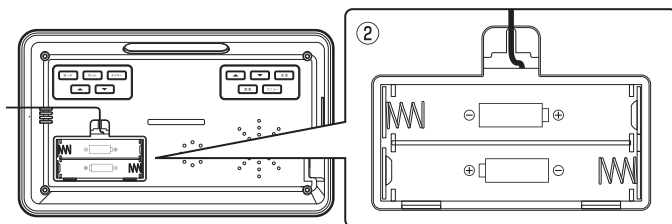
- 上記は一例になり、実行中のモードによって異なります。
- 品質保持のため液晶画面に保護フィルムが貼られております。  
実際にご使用する際は、保護フィルムを剥がしてご使用ください。

## 電池の交換方法

① 図のツメを下方方向に押しながら、電池ボックスの蓋を開けてください。



② 電池ボックス内の表示に従って、極性に注意して単 4 形乾電池 2 本を入れてください。

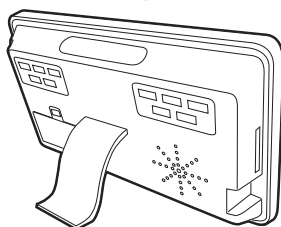
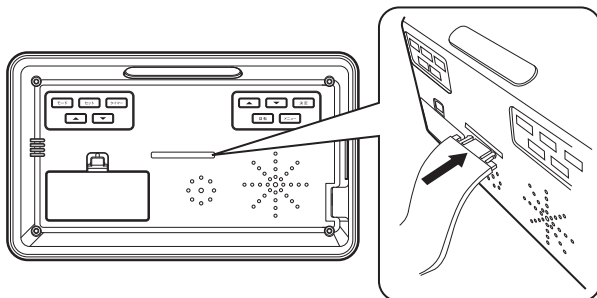


●電池は「時計」「カレンダー」機能を使用するためのものです。

フォトフレーム機能を使用する際は、付属の専用 AC アダプタを接続してください。

## スタンドの取り付け方法

付属の専用スタンドを背面のスタンド取り付け部に、下図のようにまっすぐ挿し込んでください。



## 電源操作

本項目では電源のオン / オフ、スタンバイの操作方法を解説します。

### 電源をオンにする



本製品左側面の DC ジャックに、付属の専用 AC アダプタを接続します。  
電源がオンになり、メインメニューが表示されます。


### 電源をオフにする




DC ジャックから、専用 AC アダプタを取り外します。

●故障のおそれがありますので、スタンバイモードであることを確認してから取り外してください。

### スタンバイモードにする

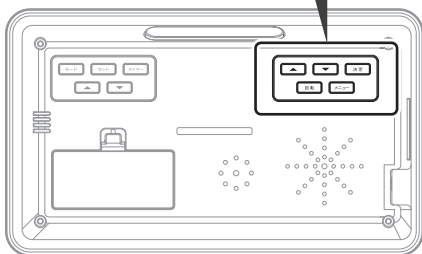
電源がオンの状態から  ボタンを約 3 秒間長押しすると、スタンバイモードになります。

### 電源をオンにする (スタンバイモードから復帰する)

スタンバイモードの状態から  ボタンを押すと復帰します。




## デジタルフォトフレーム機能を使用する

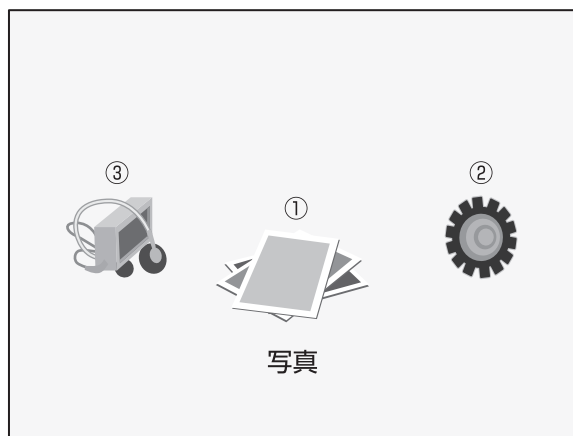
デジタルフォトフレーム機能では、背面右側のボタンを使用します



### メインメニュー

本項目ではメインメニューの機能を紹介します。

本体の   ボタンで各モードを選択して  ボタンを押してください。



- ①写真 : 写真のスライドショーを再生します (P.20)
- ②設定 : 設定画面を表示します (P.21)
- ③ラジオ : ラジオモードを起動します (P.23)

## 写真モード（操作方法）



本項目では写真モードの操作方法を紹介します。

### 画像をスライドショー再生する


メインメニューから写真を選択します (P.19)。

画像ファイルの保存されている、外部メモリを挿入すると、自動でスライドショー再生を開始します。


### 前 / 後の画像を表示する

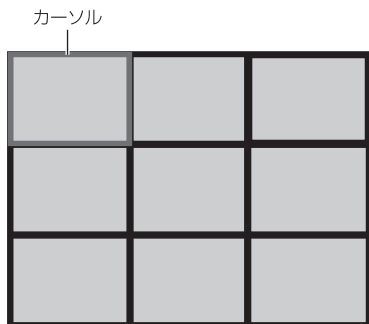
 ボタンを押すと次の画像が表示され、 ボタンを押すと前の画像を表示します。




### 画像を回転表示させる

 ボタンを押すと、時計回りに 90 度ずつ画像が回転します。

### サムネイル表示（縮小一覧表示）

写真をフルスクリーンで表示している状態で  ボタンを押すと、サムネイル画面を表示します。



- |  |                    |
|--|--------------------|
|  ボタン  | ・・・カーソルが右に移動します    |
|  ボタン  | ・・・カーソルが左に移動します    |
|  ボタン | ・・・写真をフルスクリーン表示します |

- ファイルはメモリに書き込まれた順に表示され、フォルダは認識されません。
- スライドショー間隔の設定については、「スライドショー間隔①」(P.21) を参照してください。

## 設定モード(操作方法)



本項目では設定変更方法を紹介します。


### 操作方法

メインメニューから「設定」を選択します (P.19)。

ボタンを押すごとに設定項目が移動し、  ボタンで、各項目の調節ができます。  
スライドショー画面に戻るには  ボタンを押してください。

### 設定項目一覧

階層1	階層2	解説
スライドショー間隔	手動	①
	5秒	
	10秒	
	15秒	
	30秒	
	1分	
	2分	
スライドショー効果	ランダム	②
	8ライン	
	6ライン	
	4ライン	
	ワイプ	
	チェック	
	プラス	
	センター	
	コーム	
	フェード	
	ロール	
	ブラインド	
	効果なし	



階層1	階層2	解説
表示	フィット	③
	パンスキャン	
	フル	
コントラスト	1～8	④
明るさ	1～8	⑤
初期設定に戻す	はい	⑥
	いいえ	

- ① …… スライドショー表示の切り替わる間隔を選択します。  
「手動」を選択した場合、自動で画像が切り替わりません。
- ② …… スライドショー表示の効果を選択します。
- ③ …… 画像の表示方法を選択します。  
ワイド …… アスペクト比を崩さずに表示します。  
パンスキャン …… 画面の両端を切って、画面いっぱいに表示します  
フル …… 画面いっぱい引き伸ばして表示します。
- ④ …… コントラストの調整をします。数字が大きくなるほど色合いが濃くなり、数字が小さくなるほど薄くなります。
- ⑤ …… 明るさの調整をします。数字が大きくなるほど明るくなり、数字が小さくなるほど暗くなります。
- ⑥ …… 「はい」を選択すると、設定を工場出荷値に戻します。

## ラジオモード（操作方法）



本項目ではラジオモードの操作方法を紹介します。

### 準備（ラジオアンテナの設置方法について）

#### ■ラジオアンテナを取り出す

ラジオアンテナは、電池ボックスの中に格納されています。電池ボックスの開け方は、「電池の交換方法」(P.17)を参照してください。

#### ■ラジオアンテナの設置

ラジオアンテナを設置する際は、下記の注意点を確認の上、ラジオアンテナの位置や向きを変え、受信感度の良い位置を探してください。

#### FM ラジオを使用する際の注意点

- 建物や乗り物の中では電波が弱まり聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際など電波の届きやすいところでお使いください。
- 他のラジオやテレビ、ビデオ、携帯電話などの近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。電源を切るか、離してご使用ください。



### 操作方法

メインメニューからラジオを選択します (P.19)。


#### ■FM 受信周波数を手動で設定する


①「手動サーチ」が選択されていることを確認します。

②  ボタンを押すと、周波数が 0.1MHz ごと上がり、 ボタンを押すと、周波数が 0.1MHz ごと下がります。

  ボタンを長押しすると、チャンネルが見つかるところまでサーチします。

#### ■FM 受信周波数を自動プリセットする

①  ボタンを押し、カーソルを「オートサーチ」に切り替えます。

②  ボタンを約 3 秒長押しすると、オートスキャンが開始されます。

チャンネルを受信できると、プリセットチャンネルが登録されます。

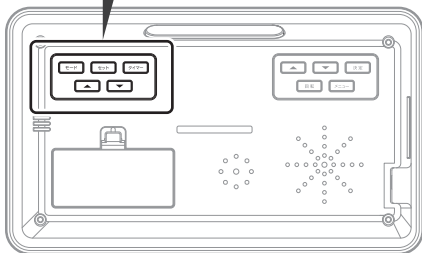
#### ■ボリュームの調整を行う

 ボタンを押し、カーソルを「ボリューム」に合わせ、 ボタンを押すと音量レベルが上がり、 ボタンを押すと音量レベルが下がります。



# 時計機能を使用する

時計機能では、背面左側のボタンを使用します



## 時計モード（操作方法）

本項目では時計モードの操作方法を紹介します。

### 時刻を設定する

**セット** ボタンを押すごとに、「時」→「分」→「年」→「月」→「日」→「言語」が順番に点滅しますので、**▲** **▼** ボタンで調整、**セット** ボタンで決定します。



#### ■時刻表記を変更する

**▲** ボタンを押す度に、時刻表記（12 時間 / 24 時間）が変更されます。

#### ■温度表記を変更する


**▼** ボタンを押す度に、温度表記（°C/°F）が変更されます。

### アラームを設定する

本製品には 2 種類のアラーム機能があります。

#### ■アラーム 1 の設定（アラームを毎日鳴らします）


アラーム 1 の時刻、アラーム音を選択する

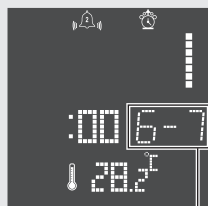
- ① **モード** ボタンを押し、 のアイコンを表示させます。
- ② **セット** ボタンを押すごとに、[時]→[分]→[アラーム音]の順番で点滅をします。  
設定したい項目で、**▲** **▼** (背面左側) ボタンを押して値を変更し、**セット** ボタンで決定します。



#### ■アラーム 2 の設定（アラームを曜日指定して鳴らします）

アラーム 2 の時刻、アラーム音、曜日を設定する

- ① **モード** ボタンを押し、 のアイコンを表示させます。
- ② **セット** ボタンを押すごとに、[時]→[分]→[アラーム音]→[曜日]の順番にカーソルが移動します。  
設定したい項目で、**▲** **▼** ボタンを押して値を変更し、**セット** ボタンで決定します。





1-7	毎日アラームを鳴らします。
1-5	月曜～金曜にアラームを鳴らします。
6-7	土曜、日曜にアラームを鳴らします。


●アラーム音の名称と番号の一覧は、「アラーム音一覧」(P.27)を参照してください。

## アラーム機能を設定する

**モード** ボタンを押して、のアイコン、またはのアイコンを表示します。

**▲** ボタンを押して、アラームの設定を変更します。

	アラーム機能：有効
	アラーム機能：有効（スヌーズ）
消灯	アラーム機能：無効

- スヌーズ・・・アラームを止めても、再び鳴り出す機能です。  
スヌーズを止めるには、アイコンを消灯してください。

## 世界時計を表示する

**モード** ボタンを押して、のアイコンを表示します。

**▲ ▼** ボタンを押して、表示する国の時刻を変更します。

国名(略称)



- 世界時計の国名と略称については、世界時計一覧(P.27)を参照してください。

## スリープ機能を設定する


### ■スリープ機能の時間を設定する

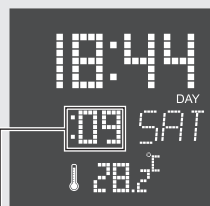
**セット** ボタンを押して、スリープ時間が点滅します。

**▲ ▼** ボタンを押して、値を変更し、**セット** ボタンで、決めます。

### ■スリープモードを実行する

**▼** ボタンを押すことで、設定を変更できます。

	点滅	スリープ機能：有効
消灯		スリープ機能：無効



スリープ時刻



- アイコンが点滅から消灯になると、デジタルフォトレームの画面が消えます。

## オートオン機能を設定する


デジタルフォトフレームがスタンバイモードになっているときに、アラーム1で設定した時刻にオートオンすることができます。

### ■オートオン機能の時刻を設定する

アラーム1のアラーム機能を有効にします。


 ボタンを押して、 のオートオンの設定を変更します。



	オートオン機能：有効
消灯	オートオン機能：無効

## タイマー機能を設定する

 ボタンを押して、 のアイコンを表示します。

 ボタンを押すごとに、[時]→[分]→[秒]の順番にカーソルが移動します。

設定したい項目で   ボタンを押して値を変更します。

 ボタンを押して、タイマー残り時刻を設定します。

●タイマーが「0」になると、アラーム音になります。

# トラブルシューティング

## 故障かな？と思ったら

**電源が入らない** ●ACアダプタのプラグがコンセントへしっかりと差し込まれているか確認してください。(P.18)

**音声が出ない** ●音量レベルを確認してください。(P.23)

**再生できない**

- 本製品で再生できるメディアか確認してください。(P.13)
- 外部メモリが正しく本体にセットされているか確認してください。(P.14)
- 外部メモリに記録されているファイルが本製品で再生できるものか確認してください。(P.15)
- 寒いところから急に暖かいところを持ってきたときなどに、本体内部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。(P.11)

**スライドショー表示の** ●「設定モード」の「表示」の設定を変更してください。(P.22)

**画面比率が合わない** ※画像ファイルによっては表示が合わせられない場合があります。

## その他

### アラーム音一覧

番号	名称
1	We wish you a Merry Christmas
2	Happy birthday to you
3	Flower Song
4	いとしのバレンタイン

番号	名称
5	蛍の光
6	マイハート
7	アラーム1
8	アラーム2

### 世界時計一覧

略称	都市名
TYO	東京
RIO	リオデジャネイロ
SYD	シドニー
LON	ロンドン
WLG	ウエリントン
PAR	パリ
HNL	ホノルル
CAI	カイロ

略称	都市名
LAX	ロサンゼルス
MCW	モスクワ
DEN	デンバー
DXB	ドバイ
CHI	シカゴ
BKK	バンコク
NYC	ニューヨーク
HKG	ホンコン

## 仕様

製品型番	GHV-DFC35RD
スクリーン	【デジタルフォトフレーム側】3.5型液晶(320×240ピクセル) 【カレンダー・時計側】3.0型液晶
コントラスト比	【デジタルフォトフレーム側】400:1
輝度	【デジタルフォトフレーム側】250cd/m <sup>2</sup>
再生可能メディア	SD/SDHC(~32GB)※ ※microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカードを使用する場合、別途専用アダプタが必要になります。
再生可能フォーマット	JPEG
FMラジオ受信周波数	76.0~90.0(MHz)
時計表示	デジタル12h/24h
世界時計	東京(TYO)、リオデジャネイロ(RIO)、シドニー(SYD)、ロンドン(LON)、ウエリントン(WLG)、パリ(PAR)、ホノルル(HNL)、カイロ(CAI)、ロサンゼルス(LAX)、モスクワ(MCW)、デンバー(DEN)、ドバイ(DXB)、シカゴ(CHI)、バンコク(BKK)、ニューヨーク(NYC)、ホンコン(HKG)
温度表示	0℃~49.9℃/32°F~121.8°F
電源	ACアダプタ 5V/1A、単4形乾電池×2本(時計用)
消費電力	最大2.5W
搭載端子	SDスロット
スピーカー	1W
動作温度範囲	5℃~50℃
動作湿度範囲	10%~75%(結露なきこと)
外形寸法	W180×D27×H107(mm)
本体重量	約285g(本体のみ)
製品構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GHV-DFC35RD本体 1台</li> <li>・専用ACアダプタ 1個</li> <li>・専用スタンド 1個</li> <li>・単4形乾電池 2本</li> <li>・取扱説明書(本書) 1部</li> <li>・1年間保証書 1部</li> </ul>



GHV-DFC35RDシリーズ

 **GREEN HOUSE** 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階  
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580  
グリーンハウスホームページ : <http://www.green-house.co.jp/>